



第96号



## あゆみ

NPO 法人ユーアイやちよ

276-0034 八千代市八千代台西 8-16-1

TEL047-482-4109 FAX047-482-4179

E-mail ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp

<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

## ユーアイやちよ 定期総会開催(5/25)

今年度の定期総会が下記の通り開催され、提出された議案は承認されました。

1. 実施日 令和6年5月25日(土)
2. 場所 北東自治会館
3. 出席人数 46名(当日出席19名、書面表決及び委任状27名)  
運営会員総数51名の過半数を満たし総会は成立しました。
4. 議案 第1号議案 2023年度事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録承認の件
5. 報告事項 2024年度事業計画及び活動予算報告の件



総会終了後には、「法令遵守・コンプライアンス」に関する研修を行いました。先ずお茶の水ケア学院のビデオ教材を見て、その後、全員が日ごろから感じている法令遵守や、尊厳の保持に関する話を話し合いました。

今回は出席の方が少ないこともあり、参加者全員が話すことができた利点がありましたが、次の機会には、会員全員に参加していただき、ユーアイやちよの現状を確認すると共に、今後の方向性等について、みんなで考え合って行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 能登半島地震災害ボランティア体験記

池田 二郎

ユーアイやちよ理事である松下やえ子さんのネットワークから、福井県勝山市の2次避難所で、ボランティアを募集しているとのお話を聞き、千葉県介護福祉士会事務局長の高橋仁美さんと3人で、参加させていただくことになった。

初めての災害ボランティアとあって不安であったが、「ここは福祉避難所。やってあげるのではなく、一緒にやるとの気持ちで、『ゆっくり!』『ゆったり!』同じ場所で同じ時間をただ過ごして下さい。」と、管理者からの情報を得て肩の荷が下りた思いがした。まさに避難所は、『湯ったり勝山』と言う市民交流センターの中にあった。



被災者の方々は、被災地の輪島でそれぞれ自立した生活をしていた皆さんである。この避難所からさらに次の住居に移った時に、自立レベルが下がってしまえば、本来の支援とは言えない。それが「やってあげるのではなく一緒にやる!」と言うことかと心得た。

この日の避難者は、75歳から101歳の方までの6名、101歳の女性Hさんは、夜間に不穏な状態になることがあると聞かされていた。今回私達は、夜間のスタッフ担当ということで携わるようになっていたので、松下さんと高橋さんは、運転の疲れも残る中で夜勤を担当された。夜になると予想通りHさんが大きな声で叫び出す。「ドロボー!」「殺される!」「金盗られた!」…、その声が深夜、館内に響き渡る。それも数分毎に…。それを松下さん、高橋さんがなだめて落ち着かせようとするが、収まる気配もなく午前3時位まで続いた。他の避難者の方々は、この大声で恐らく熟睡できるわけもないが、同じ境遇であることからか、Hさんに対して苦情も言わず、辛く当たることもなく過ごしている。これが仮に私達の住む地域での出来事だったら、避難者はどう反応するだろうか。「どんなに良いところに住まわせてもらっても、やはり家に帰りたい!」と言う避難者の言葉が、今でも耳の奥に残っている感じだ。

《 次ページ下段へ 》



## ご利用者様からの便り（その1）伊野 靖子 さん

此の度、あゆみに載せる文を頼まれましたが、何を書いて良いかわかりませんが…、私事を少し書かせていただきます。私 87 歳！

2007年2月のことですが、息子が頭痛するとのことで医者に行ったところ、風邪くらいだろうと薬を5日分頂いて帰ってきました。翌日が2月14日、バレンタインデーの日で、誰からかチョコレートを頂けるかなあ位に考えていたと思います。ところがその朝起きてきて、今日も頭痛がするので会社を休むと言い、自分で会社に連絡を入れていました。それで私は、何か美味しい物でもと思い、買い物に出掛け帰ったところ、息子のいる2階で「ドスン」という音がしました。私は急いで2階に駆け上がったところ息子が倒れており、急いで主人を呼びました。主人が息子に「お父さんの手を握ってみろ！」と言ったのですが、反応がなく、「これは脳梗塞に違いない、早く救急車を呼べ！」と言います。私は救急車を待つ間、何がどうなったのか分からず、でも必要なものを用意し脳外科に行きました。医者からは、「脳梗塞、それかなり重いので、今夜か明日手術になります。そのつもりで…」と言うことでした。次の朝、病院から連絡があり、早々に手術が始まり、6時間位掛かるとのこと、その間4.5畳位の控室で主人と二人、言葉もなく待つだけでした。6時間以上待ったでしょうか？息子の手術が終わりICUのベッドに横になっていました。ドクターからの説明では、頭蓋骨を剥がし48針縫い、次に頭蓋骨の型を取りチタンを入れ、縫い合わせが行われました。それから16年が過ぎました。その間に今度は主人の具合が悪くなり、2人の介護をすることになりました。残念なことに主人は、4年前コロナの最中に肺炎で亡くなりました。そのような状況の中でここまで来られたのも、ケアマネージャーや訪問介護の方、友人、ご近所の方のお陰です。心より感謝しています。



## 追伸：伊野 忠臣 さん

2023年10月に左足首を骨折した折に、退院後のショートステイを迅速に手配して下さい、かつ自宅に戻った折には、訪問介護でオムツ対応していただいたこと、また移送サービスでは、隔週の通院に対応していただき、厚くお礼申し上げます。

## 5 S 運動 推進中！

**5S**は、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰」の略称です。5Sは「処遇改善加算」を算定するための要件の一つである「生産性向上のための業務改善の取組」に分類されています。職場環境をきれいにすることも一つの目的ですが、業務効率を向上し生産性を高めることも大きな目的です。

もともとは、トヨタ自動車が導入したことが始まりとする説もあるように、工場等の製造現場でよく使われてきたスローガンですが、介護の仕事や事務部門でも重要な取り組みです。

書類を仕舞った場所が分からなくなり、探し回ってれば仕事に多くの時間が掛り、生産性が低くなります。また、整理・整頓が出来ていなくて、利用者情報を机の上に残したまま帰宅したりすれば、個人情報漏洩する心配もあります。利用者宅を訪問する際も、必要なものをすぐに取り出せるように、バッグの中を整理・整頓しておけば、スムーズに仕事に取りかかれます。

**各自で色々工夫し、職場環境の改善や生産性向上に繋げて行きましょう！**



◀ 前ページより ▶

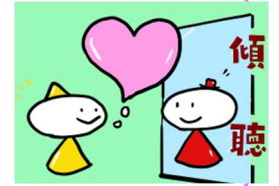
今回の災害ボランティアを通して多くのことを学び、私たちもいつどこで起こるかわからない災害に備える必要性を強く感じた。貴重な体験をさせていただいた避難者並びに現地の皆さん、同行の松下さん、高橋さんに感謝したい。





## ご利用者様からの便利（その-2）梶山 みよ さん 「ユーアイやちよのご縁に感謝」

平成27年春、引きこもりがちな私は、傾聴ボランティアをしている友に誘われ「語らいパートナー」の講習会に参加しました。ヘルパー時代の先輩椎名様との嬉しい再会でした。老人ホーム、デイサービス、個人宅へ先輩と同行し、1時間のお話し合いは楽しいことでした。「人は思っていることを話すと心が軽くなる」と言われた通り、心身共にすっきりしたのを覚えています。



思わぬコロナ禍で外出もままならぬ最中も、リハビリデイサービスを受け入れてくださった『ゆうあい苑』、ユーアイやちよのヘルパーさんの訪問に心から感謝申し上げます。体調も良くなりました。

身動きが軽くなると、庭木の芽吹きや草花の成長を見つけ、気持ちがはずみます。

部屋の模様替え、食器類の入れ替えなど、生きがいが見つかったようです。私は和菓子が大好きです。季節の銘菓は幅広い思い出を引き出してくれます。私の体調の変化と一緒に喜んでくださる優しいヘルパーさん、これからもよろしく願いいたします。

今年87歳で白内障の手術の結果、明るくなった視野で社会の一員として周囲をよく見つめ、戦争のない平和な日本の四季を味わい、日々をゆったり暮らしていけたら良いなあと思っています。



## ～ ヘルパーのレターメッセージ ～ 志田 悦子 さん

1. ユーアイやちよでの職務と勤務期間 ケアマネージャー、1年10か月
2. 好きな言葉 置かれた場所で咲きなさい！
3. 仕事に当たって心がけていること 信頼関係の構築
4. 利用者さんから教えていただいたこと 年齢や持病を受け止めながらも、目標や楽しみを持って生きていると笑顔は輝いている。
5. 仕事をしていてうれしかったこと いつか、一緒にテニスができる様に運動を頑張っていますよ。
6. 仕事以外の趣味や楽しいこと 週末の朝ドラ、イッキ観



微笑みの輪

## 特定非営利活動法人ユーアイやちよ

訪問介護・障害福祉サービス・居宅介護支援・福祉有償運送・ボランティア活動等を行っています。

[トップページ](#) [サービス内容](#) [ボランティア活動](#) [団体紹介](#) [入会案内](#) [求人情報](#)

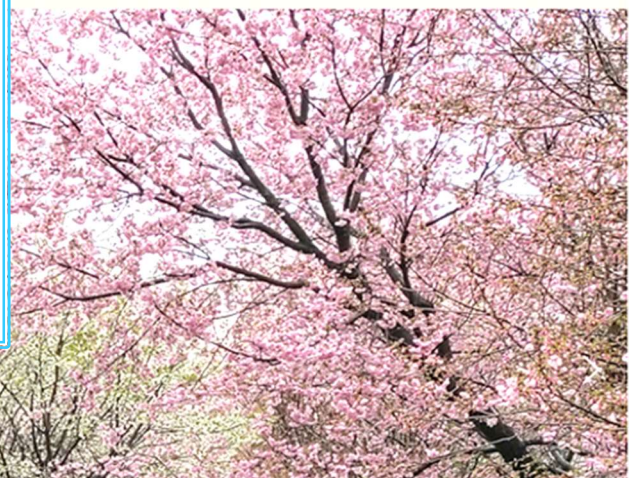
[情報公開](#) [活動実績](#)

Search

## ホームページ更新

ユーアイやちよのホームページを更新しました。

今回は、Wordpress という手法を使って作成しました。今後は月に1回程度、八千代市内の季節の移り変わりの状況なども掲載し、少しでも興味を持っていただけるようにしたいと思います。みなさまもぜひご覧ください。スマートフォンで、QRコードを読み取って見ることもできます。



**ユーアイやちよ支えあい活動推進中 ユーアイやちよ「語らいパートナーの会」**

『語らいパートナーの会』は、ユーアイやちよのボランティア部門の一翼として、「傾聴活動」を行っている会で結成17年目を迎えます。

人は話を聴いてもらう事で心が軽くなり、元気になるといわれています。私たちは対等の立場で話を聴くことで、その方の心に寄り添い、人と人とのより良い関係を築く活動を進めております。

現在登録会員は41名。「傾聴ボランティア養成講座」でトレーニングを受けたメンバーが介護施設や、個人のお宅を訪問して年間延べ600件からのお話を伺っております。

私たちの基本姿勢は、「受容と共感」、この活動はややもすると、「何かをしてあげる」「奉仕活動」と思われがちですが、ボランティア会員は、利用者さんとの関わりの中で、「学び、得る」事がたくさんあります。人生の先輩からお話を伺い、自分を映して振り返る。それは即ち自分自身が、成長するという事です。まさに「Win-Win」の関係で、「お話を聴かせていただいております」と感謝の気持ちで活動しています。

**【賛助会員の協力について】****賛助会費をありがとうございます！！**

4月以降、下記の方から賛助会費をいただきました。大変ありがとうございます。

石上直之・久美子様、大木昭子様、大澤公代様、辻誠逸様、松下やえ子様、桃井哲朗様、篠原智子様、伊藤眞理子様、登根美千子様

賛助会費は、「地域支援費（傾聴ボランティアや小さなお手伝いの活動費）」及び「移動サービス（福祉有償運送）に使用する福祉車両の整備費」等に活用させていただきます。

新しく賛助会員になっていただける方、今後も継続していただける方は、お電話をいただければお伺いします。

振り込みいただける方は、電話で連絡いただいたのち、下記口座にお願いいたします。

振込先：千葉銀行新八千代支店（普通）3266357

口座名義人：特定非営利活動法人ユーアイやちよ 代表理事 網干 勝

電話番号：047-482-4109

**R5年度 傾聴活動実績報告**

	延利用者	延活動者
上半期	184名	325名
下半期	248名	380名
計	432名	705名

**R5年度 小さなお手伝い活動実績**

	延活動回数
計	178回

**【今後の予定】**

6月～8月	職員・ヘルパー面談
7月	利用者アンケート
7月	定例会（感染症・食中毒）
7/18	語らいパートナーの会 勉強会
9月	定例会（事故・緊急時対応）
9月	BCP研修・訓練
9/19	語らいパートナーの会 勉強会

**【行事報告】**

5月16日 語らいパートナーの会 勉強会

5月25日 定期総会、定例会（法令遵守・コンプライアンス研修）於 北東自治会館